

火山噴火のニュースのお話

先月あたりから、各地の火山の噴火に関するニュースが流れています。中学入試の地学分野でも扱いますし、特に国内での噴火は時事問題として取り上げられることもあります。今回は、ここ数日の火山関連のニュースについてつぶやこうと思います。

日本時間の 11/28、ハワイのマウナ・ロアが 38 年ぶりに噴火しました。テレビなどで映像を見た人もいると思いますが、日本ではめずらしい割れ目火口からの噴火でした。

マウナ・ロアは、ねばりけの少ない（流れやすい）溶岩が作る楯状火山で、噴火前の標高は 4169m、体積は富士山の 55 倍ほどにもなる、世界で最も体積の大きい山でもあるそうです。



マウナ・ロア (Wikipedia)

ハワイ諸島は、ホットスポットと呼ばれるプレート下からのマグマの供給源の上に位置しており、マウナ・ロア以外にも多数の火山を持っています。また、ハワイ諸島から続く海底には、プレートの移動によって運ばれるうちに風化して海底に沈んだ、もともと島だった海山が列をなしています。プレートテクトニクスについては 4 年生の探検隊の授業で扱いますが、5, 6 年でも地震や火山のしくみを理解するために重要な考え方の一つです。お楽しみに。

日本時間 12/4 には、インドネシアのジャワ島にあるスメル火山（セメール火山）が噴火しました。普段から小規模な噴火を繰り返す（イメージは日本の桜島に似ている）火山で、ふりつもった火山灰や軽石、流れ出た溶岩からできている成層火山です。今回の大規模な噴火では、15000m にも達する噴煙と、火砕流が確認されています。

インドネシアは世界有数の火山国で、日本と同じく^{かんたいへいようぞうざんたい}環太平洋造山帯の一部になっています。複数のプレートのさかい目にあるため地震も多く、津波で大きな^{ぎせいしゃ}犠牲者を出すこともあるなど、災害でも日本との共通点があります。

日本時間 12/6 にはチリのビジャリカ山で地震と火炎現象（高温の^{ふんしゅつぶつ}噴出物が炎のように見える現象）が^{かんそく}観測され、^{けいかい}噴火が起きるのではないかと警戒されています。チリも環太平洋造山帯に含まれる国の1つです。

一週間ほどの間に立て続けに火山に関するニュースがあったわけですが、今年1月にも海底火山フンガ・トンガ＝フンガ・ハアパイの大規模噴火があり、噴火にはじまって噴火に終わった一年だったようにも思えます。国内でも、西之島、桜島などが活発に活動しており、^{こすげんしよ}小笠原諸島の海底火山でも噴火が確認されています。

大規模な噴火では、火山灰や火山ガスなどの噴出物が大量に大気に放出され、数年～数十年にわたって^{きこう えいきよう}気候に影響を与えることもあります。近くに住んでいる人たちの生活には特に大きな影響がありますが、世界的に^{かんれいか}寒冷化したりすれば農業などへの影響は各国に広がることになります。日本も他人ごとではないので、しっかりと備えておきたいですね。

22/12/7 （ハワイやアイスランドの火山を見に行きたい） あん Do

そうそう、12/13, 14の夜には^{ふたござ}ふたご座の^{りゅうせいぐん}流星群が極大になります。1時間に40個ほど、との予想なので、なるべく暗いところで空を見上げてみてはいかがでしょうか。^{かげん}下弦の月が上ってくる、0時より前がおすすめです。